



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月10日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
 コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 保木 潤一
 (氏名) 大橋 進
 配当支払開始予定日 2019年8月30日
 TEL 03-6229-1300

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,038	0.2	1,335	6.9	1,401	10.2	986	9.7
2019年3月期第1四半期	9,053	1.2	1,248	17.5	1,272	15.5	898	65.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,297百万円 (20.5%) 2019年3月期第1四半期 1,077百万円 (18.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	32.66	
2019年3月期第1四半期	28.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	106,000	92,290	86.9	3,051.94
2019年3月期	103,327	91,404	88.5	3,027.43

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 92,154百万円 2019年3月期 91,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	16.00	16.00	16.00	16.00	64.00
2020年3月期	16.50				
2020年3月期(予想)		16.50	16.50	16.50	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,700	2.5	2,480	1.6	2,570	3.6	3,180	29.9	105.31
通期	37,920	3.4	5,240	19.6	5,680	26.1	5,310	12.1	175.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	32,682,310 株	2019年3月期	32,682,310 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,487,072 株	2019年3月期	2,492,372 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	30,191,789 株	2019年3月期1Q	31,106,952 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、製造業を中心に景況判断は慎重な見方が増加してきており、米中貿易摩擦による景気減速の懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に医療制度の改革が進められております。昨年の診療報酬改定では、医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進がテーマの一つとして掲げられており、各医療機関における医療現場の改革に対する意識が高まっております。当医療機器業界におきましては、この厳しい環境変化の中で、市場環境に合わせた製品やサービスの提供が必須となってきております。

このような環境の下、当企業集団では、少子高齢化や人口減少による労働力の縮小と、急性期医療機関への手術の集中化への対応を迫られる医療機関に対して、「働き方改革」と「医療安全」に貢献する「プレミアムキット」の提案を積極的に展開しております。「プレミアムキット」は、手術別に必要な材料を適切な順番でセットしたキット製品であり、安全で早く手術準備をすることで、少ない人員で多くの手術に対応することに大きく貢献できる、当企業集団の主力製品となっております。

当第1四半期におきましては、医療機関の「働き方改革」に対するニーズにお応えすべく、「プレミアムキット」を中心とする活動に特化してまいりました。高い安全性や費用対効果などの製品特性に加え、昨年から展開している手術の準備・展開作業の軽減に向けたソリューションの提案活動が徐々に浸透しはじめたこともあり、「プレミアムキット」の売上が伸びました。キット製品全体では、販売予定の医療機関への新規立上げ不足に加え、他社との競争などにより厳しい状況となったものの増収を確保いたしました。一方、その他の製品につきましては、引き続き厳しい市場環境の下で全体では売上が減少いたしました。なお、当該期間における「オペラマスター」の契約件数につきましては、新規契約2件、解約2件となり、累計での契約件数は274件となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,038百万円（前年同期比0.2%減）となりました。キット製品の売上高は5,481百万円（同2.7%増）、「オペラマスター」の売上高は3,689百万円（同3.2%増）となりました。売上原価は、新キット工場が順調に稼動したことに加え、償却費が減少したことなどにより前年同期に比べ原価率が改善いたしました。販売費及び一般管理費は、効率的な経費の使用に努めたことなどから、前年同期に比べ減少いたしました。この結果、営業利益は1,335百万円（同6.9%増）、経常利益は1,401百万円（同10.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は986百万円（同9.7%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において非連結販売子会社であったホギメディカルアジアパシフィックを連結の範囲に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,673百万円増加し、106,000百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金717百万円の増加と、受取手形及び売掛金308百万円の増加、原材料及び貯蔵品の504百万円の減少等により827百万円増加し44,936百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、新キット工場Ⅱ期工事の設備投資等による建設仮勘定2,924百万円の増加、建物及び構築物の減価償却等による291百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による578百万円の減少等により、2,001百万円増加し47,946百万円となりました。無形固定資産は、減価償却等による116百万円の減少により2,483百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の時価評価等による投資有価証券169百万円の増加、為替予約73百万円の減少等により、39百万円減少し10,634百万円となりました。この結果、固定資産は61,064百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,787百万円増加し、13,709百万円となりました。流動負債は、未払金1,879百万円の増加、設備関係支払手形331百万円の増加、未払消費税等310百万円の増加、未払法人税等978百万円の減少等により、1,624百万円増加し10,812百万円となりました。固定負債は、所有する株式の時価評価等に係る繰延税金負債157百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて163百万円増加し2,897百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益986百万円の計上による増加、剰余金の配当による484百万円の減少、所有する株式の時価評価等によるその他有価証券評価差額金435百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて885百万円増加し92,290百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の88.5%から86.9%へ減少いたしました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより23,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ713百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を1,401百万円、減価償却費を1,289百万円計上し、売上債権の増加307百万円、たな卸資産の減少301百万円、未払消費税等の増加310百万円、法人税等の支払1,348百万円等がありました。これらの結果、キャッシュ・フローは1,767百万円となり、前年同期に比べ894百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,025百万円、無形固定資産の取得による支出105百万円等がありました。これらの結果、1,181百万円の支出となり、前年同期に比べ155百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払484百万円、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)による自己株式の処分による収入18百万円等がありました。この結果、466百万円の支出となり、前年同期に比べ2,274百万円支出が減少いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約8,000百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、約4,000百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約2,000百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当企業集団では、医療関係者の皆さまの「働き方改革」「医療安全」へのソリューションの提供を通じて病院経営改革に貢献してまいります。

また、当企業集団の強みである営業リソースを最大限に活用し、主力製品である「プレミアムキット」を中心に、「働き方改革」「医療安全」をはじめとするお客様の課題解決に向けた提案活動を組織的に遂行してまいります。

さらに、製品価値及び販売戦略の理解度の底上げと営業活動の量・質の両面の充実を図り、当企業集団にしか生み出せない価値をお客様に提供していくとともに、原価低減など経営効率化により一層努めてまいります。また、今後も需要拡大が見込まれる「プレミアムキット」の生産効率向上に資する生産設備の設備投資を実施してまいります。詳細は現時点では調整中ですが、投資総額として約160億円を見込んでおり、今期より2024年度にかけて段階的に取得していく予定でございます。

海外事業におきましては、製造子会社であるP.T.ホギインドネシアにおいて、引き続き生産性の向上に取り組むと同時に内製化を推進してまいります。販売孫会社P.T.ホギメディカルセールスインドネシアでは、更なる販売拡大を実現してまいります。また、海外市場への本格的進出を目指して前期シンガポールに設立した販売子会社ホギメディカルアジアパシフィックでの、ASEAN(東南アジア諸国連合)各国の主要病院への販売を拡大してまいります。

新規事業の「R-SUD(単回医療機器再製造)」事業につきましては、美浦工場第一を全面改装し検査・試験などの準備と製造プロセスの確立を鋭意進めており、準備が整った製品から順次許認可申請を行い2020年度の事業開始を目指しております。

その他、お客様の「働き方改革」「医療安全」に貢献する新製品の提案を積極的に進めていくとともに、中期的には手術に必要なすべての材料をジャスト・イン・タイムで提供するSCM(サプライ・チェーン・マネジメント)構想を見据えた、更なる病院経営改善の提案を行ってまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	37,920 百万円	(前期比 3.4%増)
営 業 利 益	5,240 百万円	(前期比 19.6%増)
経 常 利 益	5,680 百万円	(前期比 26.1%増)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	5,310 百万円	(前期比 12.1%減)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,336	24,054
受取手形及び売掛金	12,004	12,313
商品及び製品	3,890	4,126
仕掛品	495	467
原材料及び貯蔵品	3,904	3,399
その他	476	574
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	44,108	44,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,902	22,610
機械装置及び運搬具（純額）	11,167	10,588
土地	9,609	9,610
建設仮勘定	922	3,846
その他（純額）	1,341	1,289
有形固定資産合計	45,944	47,946
無形固定資産	2,600	2,483
投資その他の資産		
投資有価証券	9,275	9,445
その他	1,397	1,188
投資その他の資産合計	10,673	10,634
固定資産合計	59,218	61,064
資産合計	103,327	106,000
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,584	4,362
未払法人税等	1,394	416
引当金	486	164
その他	2,721	5,868
流動負債合計	9,187	10,812
固定負債		
長期借入金	285	285
退職給付に係る負債	349	355
その他	2,099	2,255
固定負債合計	2,734	2,897
負債合計	11,922	13,709

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	79,770	80,190
自己株式	△8,663	△8,645
株主資本合計	86,566	87,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,693	5,129
繰延ヘッジ損益	127	43
為替換算調整勘定	110	78
退職給付に係る調整累計額	△101	△101
その他の包括利益累計額合計	4,830	5,149
非支配株主持分	7	136
純資産合計	91,404	92,290
負債純資産合計	103,327	106,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,053	9,038
売上原価	5,320	5,243
売上総利益	3,733	3,794
販売費及び一般管理費	2,485	2,459
営業利益	1,248	1,335
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	29	38
為替差益	—	6
その他	9	10
営業外収益合計	47	69
営業外費用		
為替差損	10	—
投資事業組合運用損	2	3
自己株式取得費用	11	—
その他	0	0
営業外費用合計	24	3
経常利益	1,272	1,401
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,272	1,401
法人税等	373	422
四半期純利益	898	978
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	898	986

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	898	978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314	435
繰延ヘッジ損益	142	△83
為替換算調整勘定	△285	△32
退職給付に係る調整額	6	△0
その他の包括利益合計	178	318
四半期包括利益	1,077	1,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,077	1,304
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,272	1,401
減価償却費	1,346	1,289
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△38	△53
投資事業組合運用損益 (△は益)	2	3
為替差損益 (△は益)	10	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	△153	△307
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△271	301
仕入債務の増減額 (△は減少)	△43	△222
その他	△412	657
小計	1,711	3,058
利息及び配当金の受取額	43	58
法人税等の支払額	△881	△1,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	873	1,767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△323	△1,025
無形固定資産の取得による支出	△166	△105
投資有価証券の取得による支出	△538	△44
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	2	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	△1,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	18	18
自己株式の取得による支出	△2,271	—
配当金の支払額	△487	△484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,740	△466
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,989	133
現金及び現金同等物の期首残高	20,840	22,903
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	580
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,850	23,617

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において非連結子会社であったホギメディカルアジアパンフィックPTE. LTD. は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。